

1 病気の概要

麻しん(ましん) 麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。麻しんに感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

風しん(ふうしん) 風しんは、風しんウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5～7人にうつす強い感染力を有します。風しんウイルスの感染経路は、飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。症状は不顕性感染(感染症状を示さない)から、重篤な合併症併発まで幅広く、特に成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。また、脳炎や血小板減少性紫斑病を合併するなど、入院加療を要することもあるため、決して軽視はできない疾患です。また、風しんに対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が風しんウイルスに感染すると、眼や心臓、耳等に障害をもつ(先天性風しん症候群)子どもが出生することがあります。(妊娠1か月でかかった場合50%以上、妊娠2か月の場合は35%などとされています)。

2 ワクチンの効果

MRワクチンを接種することによって、95%程度の方が麻しんウイルスと風しんウイルスに対する免疫を獲得することができます。また、2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができます。

3 使用するワクチン

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を使用します。その他、単独の麻しんワクチンと風しんワクチンを接種することもできます。

4 接種の対象者とスケジュール

MRワクチンの定期接種は、以下の2回です。2回の接種が必要です。

第1期：1歳の1年間(1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで)

第2期：5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間

5 ワクチンの安全性

ワクチン接種後の反応として多くみられる症状として発熱、発疹、鼻汁、咳嗽、注射部位紅斑・腫脹などがみられます。重大な副反応として、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、脳炎・脳症、けいれん、血小板減少性紫斑病がごく稀に（0.1%未満）報告されていますが、ワクチンとの因果関係が明らかでない場合も含まれています。

なお、麻しん含有ワクチンは、ニワトリの胚細胞を用いて製造されており、卵そのものを使っていないため卵アレルギーによるアレルギー反応の心配はほとんどないとされています。

しかし、重度のアレルギー（アナフィラキシー反応の既往のある人など）のある方は、ワクチンに含まれるその他の成分によるアレルギー反応が生ずる可能性もあるので、接種時にかかりつけの医師に相談してください。

6 接種を受けられない方

以下の方は、接種を受けることができません。

- * MRワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- * 免疫機能に異常のある疾患を有する方、免疫抑制の効果のある治療を受けている方
- * 妊娠していることが明らかな方
- * その他、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断する方

また、以下のような場合は接種を受けることができませんので、治ってから受けるようにしてください。

- * 発熱している。
- * 重篤な急性疾患にかかっている。

7 接種に注意が必要な方

以下の方は、接種にあたって注意が必要なので、あらかじめ医師に相談してください。

- * 心臓、腎臓、肝臓、血液の病気や発育障害がある方
- * これまでに、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- * けいれんを起こしたことがある方
- * 免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- * MRワクチンの成分でアレルギーを起こすおそれのある方

8 健康被害救済制度

定期の予防接種による副反応のために、医療機関で治療が必要な場合や生活が不自由になった場合（健康被害）は、法律に定められた救済制度（健康被害救済制度）があります。田川市民の方で制度の利用を申し込むときは、田川市保健センターにご相談ください。（制度利用には、一定の条件有り）

（参考）

こうせいろうどうしやう
【厚生労働省】
よぼうせつしゆ
予防接種・
じやうほう
ワクチン情報



こうせいろうどうしやう
【厚生労働省】
よぼうせつしゆけんこう
予防接種健康
ひがいきゅうさいせいど
被害救済制度



たがわし
【田川市】
よぼうせつしゆ
予防接種の
あんない
ご案内



ふくおかけんない
福岡県内
よぼうせつしゆ
予防接種
たんとうか
担当課



【問い合わせ先】 予防接種に関するご相談等は、住民票のある市区町村にご連絡下さい。

たがわしふくしよほけんふくしかほけん
田川市福祉部保健福祉課保健センター TEL 0947-44-8270

※この説明書は、主に厚生労働省のHPを元として、田川市保健センターが作成しています。

【裏面もご覧ください】